

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

| | | | |
|----|---|-----|--------|
| 番号 | ③ | 学校名 | 奈良養護学校 |
|----|---|-----|--------|

1. 事業内容について

| | |
|---|---|
| 取組・活動・事業名等 | 「社会参加学習」での地域作り実習を通して学ぶ |
| 教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい | 「総合的な探求の時間」及び「自立活動」に位置づけ、一人ひとりがよりよく生きていけるために豊かな社会性を育み、自らの特性を生かした生活を設計するための力を養う。 |
| 連携・協働相手 | ヘルマンハーブ振興会 |
| 地域と共有している目標・課題等 | 学校・地域間の相互理解、本校生徒のコミュニケーションの力・集団活動に主体的に参加する力の向上 |
| 取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など） | |
| <p>11月20日（木）にヘルマンハーブ振興会（音楽演奏団体）の演奏者の方をお招きし、音楽鑑賞や楽器の演奏体験等の交流活動を行った。</p> <p>長年本校と交流してきている音楽演奏団体であるため、演奏者の方は本校の生徒たちの実態や学校の様子等を知ってくださっている。生徒たちのなじみのある曲や実際に演奏者の方と生徒たちがやりとりをする場面を入れたプログラムを提案していただき、生徒たちがより楽しめるような趣向を凝らした演奏会をしていただいた。</p> <p>生徒たちは、演奏会に向けて横断幕や飾り、プレゼントを作ったり、会場の準備をしたりすることができた。演奏会ではヘルマンハーブに触れたり音を出したりすることで、演奏者の方を身近に感じる事ができた。演奏会終了後にプレゼントをお礼として贈ることができた。</p> | |

2. 事業の成果と課題

| |
|---|
| <p>演奏曲目に生徒たちのなじみのある曲を入れていただいたこと等により、生徒たちは興味をもちながら鑑賞することができた。演奏者の方とやりとりをしながらヘルマンハーブに触れたり音を出したりすることができたことを喜ぶ生徒たちも多かった。演奏会に向けて準備をしたり、演奏会終了後にプレゼントを贈ったりすることもできた。また、生徒たちが作った横断幕を演奏者の方が気に入ってくださり、今後の各地での演奏活動で使いたいとの依頼を受けてお渡しした。そのことで、地域への啓発につながることを期待している。</p> <p>来年度以降も関係を大切にしながら演奏会を継続していくとともに、個々の生徒たちが演奏者の方との交流の機会をさらにもてるように内容の検討を重ねながら実施していきたい。</p> |
|---|

